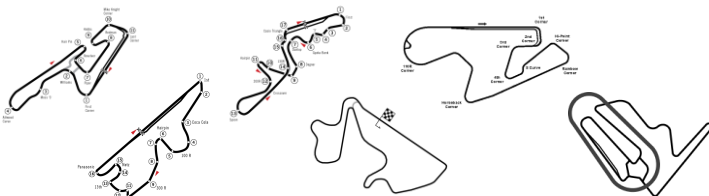
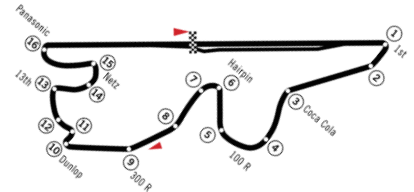


FIAF4 第3戦・第4戦 富士スピードウェイ

- 開催日: 5月3日～4日
- 開催場所: 富士スピードウェイ
- 天候: 1日 曇り雨・2～4日 晴れ
- 路面: 1日 ドライ→ウェット・11～14日 ドライ
- 参加台数: 34台



Team Principal: Masashi Kawaguchi
Secretariat: PECORA INC.
Driver: Iori Kimura
Mechanic: Kazuya Tachi / Shouma Tachi

ゴールデンウィークのビッグイベントとして開催される、富士スピードウェイでの第3戦・第4戦、高速サーキットとして知られる富士スピードウェイ、さらにシリーズで唯一2回開催される舞台だけに、ここでの戦いはシリーズ争いに大きな影響を及ぼすことは過去に実証されている。それだけに、この富士大会での第3戦・第4戦は大きな意味を持つこととなるだろう。

先に勝利を挙げたドライバーは達はこの場で再び優勝出来れば主導権を握れる。
そうした争いに木村偉織、他のライバルらが絡んでくることで、
予想以上の激戦となる可能性も秘めている、それが富士大会へのパドック内の展望だろう。

【スケジュール】 [SCHEDULE]

2019 FIA F4 選手権 第3/4戦 富士大会スケジュール

5月1日	F4プライベートテスト
5月2日	OTG FIAF4 トレーニング①
	OTG FIAF4 トレーニング②
5月3日	公式予選
	FIAF4選手権 第3戦 決勝 (15 LAPS)
5月4日	FIAF4選手権 第4戦 決勝 (15 LAPS)

■ F4プライベートテスト

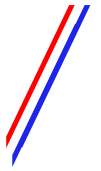
5月1日-----

1本目のコンディションは曇り、2本目のコンディションは曇り→雨と
難しいコンディションでの走行になりました。

路面のコンディションもレースとは大きく異なり、そこから採れるデータもそこまで参考にならない為、
1本目の走行では新品タイヤを入れずに程度のいい中古でマシンのバランスやセットアップを
確認しました。

そこでセクター3での車のフィーリングがいまいち上手く行かなかったのでセットアップを変更し、
2本目の走行で確認することを決めました。

しかし、2本目は雨により路面はハーフウェット。
コースのコンディションもかなり悪くなってしまった為、
チームと話し合った結果走行を中止し見学することにしました。



OTG FIAF4 トレーニング

1 回目 7 5 分間-----

1 本目は昨日ウェットになってしまった結果、テストできなかったセットアップをまずは確認しつつニュータイヤを入れてアタックしました。

タイムは伸び悩み16番手、セクタータイムを確認してみるとセクター3でのタイムが大きく遅れていることがわかりました。

原因としては進入でのオーバーステアがきつく旋回から出口にかけてのスピードが遅かったのものでそこで車が踏ん張ってくれるようにセッティングとドライビングを変えて2本目に挑もうと思いました。

2 回目 7 5 分間-----

マシンのセッティングを変更し2セッション目を走りました。

まずは前半20分はユーズドを使いレースラップくらい走った場合のペースの変化を確認。

しかし、セットアップを変えても依然とリアが暴れる感じがするのでタイヤをニューに変えて帳尻が合うかどうか確認することにしました。

その結果リアの暴れ具合は収まり多少はよくなりましたが、まだまだセクター3でコンマ5秒ほど遅くデータを比較しながらメカニックさんと話しながら土曜日に向けてのセットアップを考えて行きたいと思いました。

FIAF4 富士大会 公式予選

ゴールデンウィークということで朝から多くのファンがスタンドに詰めかけた5月3日（金）。快晴で最終コーナー方向に雄大な富士が浮かび上がり、絶好のドライコンディションとなる中、午前8時05分から30分間の公式予選が行われた。

オンタイムで各車コースインし、徐々にタイヤに熱が入り始めた開始5分のあたりで上位陣は1分47秒台のラップを刻み出し、まずは1分47秒802でモニターのトップになる。木村偉織も48秒台に入りトップのコンマ2秒差の所までつける。しかし翌周には全体的にペースが上がり上位陣は46秒台に入り、計測5周目に入るとさらに上位陣はタイムを更新。1分46秒082のタイムが1位となった。木村偉織も46秒台に突入するもなかなか前半へとタイムアップに苦しんだ。しかしセッション後半、計測9周目に入ると、

トップタイムは1分45秒949となり45秒台に突入。上位陣もタイムを上げる中、ラップタイム向上に苦しみそのまま1分46秒837という結果で予選を終えた。

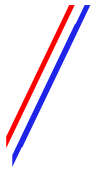
Driver's voice-----

セクター3でのタイム差を詰めるべくドライビングや車を調整した結果、セクター2での車のバランスが悪くなり、大幅なタイムアップをすることが出来ませんでした。

ドライビングの面で車をなんとか出来ないのかと色々を試しましたが、かえって攻めすぎてしまい上手く1周をまとめることや、車を前に進めることが出来ず不甲斐ない結果となってしまいました。レースのペースも悪く、前に行くのは簡単ではありませんが少しでも順位を前へ、少しでもポイントを獲得出来るように頑張りたいと思います。

まずは午後の第3戦、焦らずに頑張りたいと思います。





FIAF4 第3戦 富士大会 [13位]

相変わらずの好天となる中、

第3戦のフォーメーションラップは午後1時25分にオンタイムでのスタートとなった。

クラッチトラブルに見舞われてスタートできず、オフィシャルの手によってピットに押し戻された車両がいたため、35台となった隊列は1周の後グリッドに。レッドライトが消灯し全車がいっせいにスタートとなったが、予選2番手を獲得していたフロントロウのドライバーがまさかのストール。マシンがあっという間に集団に飲み込まれ、後続では混乱が生じた中でポジションを上げたのは16番グリッドの木村偉織。スタート直後の1コーナーでスリーワイドとライバルに並びかけると、2コーナー立ち上がりで前へ。順位を2つ上げ14番手となる。トップの3台は序盤コンマ数秒差でもつれ合うようにハイペースで接近戦を演じる一方、4番手以降はややペースが悪く、じりじりと前の3台とギャップが拡大していくことに。レーススタート前半戦、ダンロップコーナーにてバトル中、他の車両と接触。車のダメージに苦しみ、後半ペースが圧倒的に無い中逃げ切り13番フィニッシュとなった。

Driver's voice-----

スタートを上手く決め1コーナーのブレーキング勝負で並びかけ上手くオーバーテイクすることが出来ました。ペースも悪くなく、更に前を目指せそうな勢いはありましたが接触後にマシンのバランスが狂ってしまいペースに悩まされ後半は後続の車両から逃げ切るので精一杯なレースでした。しかし、スタートの混戦の中の位置取りなど自分の強みを見せてたレースだと思いました。明日は一つ前の順位からのスタートなのでポイント獲得を目指して走り抜けます。



FIAF4 第4戦 富士大会 [12位]

前日に続き、晴れ晴れとした快晴となった5月4日（土）の富士スピードウェイ。

FIA-F4選手権第4戦の決勝は、オンタイムの午前8時40分にフォーメーションラップがスタートとなった。

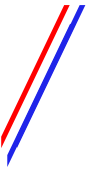
前日の第3戦決勝中のアクシデントによりマシンにダメージを負ったドライバーがリタイヤとなったため、35台が臨んだこの第4戦決勝。レッドシグナルは午前8時44分に消灯、15週のレースがスタートとなった。ここで8番手スタートだった車両がストール。上位陣はポールシッター以下問題なくスタートを切ったが、中団グループ以降ではマシンを避けるため混乱が発生。接触してしまい、クラッシュ発生。ダメージを負ったマシンはストレート上でスピンし立ち往生することとなり、この車両の排除のためいきなりのセーフティーカーが入ることになった。ところが、このセーフティーカー導入に気づくのが遅れたか、セクター3のあたりで集団の中で複数の接触が発生。後続の複数車両がリタイヤ。走行を続けた車両もフロントウイングを損傷しており、その後オレンジボードの提示を受けてピットに戻りマシンを降りることになってしまう。木村偉織はスタートで失敗。1コーナーまでで順位を2つドロップしてしまったがその後のブレーキング勝負で上手く車両をパス。その後SCが発生するまでバトル中に発生した混乱を上手く抜き、11位まで順位を上げた。SC再開後ペースが伸び悩んだ木村偉織はスタートでパスした車両からの攻撃に苦しみ、なんとか防戦出来ていたがそれも叶わずストレートにて順位をドロップ。後半のペースの良さで追いつけたものの12位でのフィニッシュとなった。

Driver's voice-----

第3戦では後半のペースに苦しみ、順位を上げるチャンスを逃してしまった為、第4戦では後半のペースを上げるためにセットアップに微調整を加えました。

しかし、前半でセーフティーカーが入ってしまうという想定外の動きになった為、タイヤの温度をターゲット内に留めることが出来ず、再開後のペースが凄く悪く、厳しいレースになってしまいました。

後半は想定通りペースが上がり、本来タイムが悪くなるはずが予選のニュータイヤ時よりも好タイムを記録することが出来、マシンとドライバー共々改善点がまだまだあると思いました。



■ 次戦にむけて 反省点・まとめ

今回の富士大会での最大の反省点は自分の走りのイメージが実際には速い走り方ではなく、そのイメージに考えが固まっている状態でセットアップを煮詰めて行ってしまったが故、起きてしまった結果だと考えております。

まずは、自分の走りの引き出しを増やすためにも今まで以上にドライビングのこを見つめ直し、「ここでこんな走り方をしたらどうなるのか？」など沢山トライ＆エラーを繰り返し、ドライビングを高めて参りたいと考えました。

間違った意識によって作られた車はどんどん違う方向性になっていってしまいます。鈴鹿ではドライビングを徹底的に見直し、レースに向けてテストを励んで参りたいです。

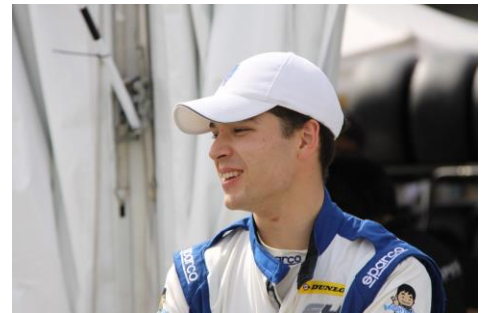


シルバースターレーシング
代表・関係者の皆様、スポンサー各社様、
IORI SUPPORTERSメンバーの皆様、
日常生活をサポートして下さる家族、
富士ラウンドでも応援して頂き
本当にありがとうございました。

これからも応援宜しくお願い致します。



第3大会の舞台となるのはチャレンジングで
テクニカルな鈴鹿サーキット。
コーナー数も一番多く、トップから最下位までの差が
最も大きく広がってしまうのも鈴鹿サーキット。
今季唯一走り慣れたコースでどのようなレースを
見せてくれるのか期待したい。



FIA-F4 OTG F4トレーニング

2019 / 5 / 2 12:17

FUJI SPEEDWAY 総合結果表

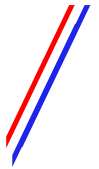
Weather : Cloudy
Track : Wet & Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	7			佐藤 遼/R. SATO	SR5/3チALLENGE	1'45.902	59		155.113
2	6			太田 裕之/R. OHTA	SR5/3チALLENGE	1'46.114	56	0.212	154.803
3	24			平本 拓哉/R. HIRAKI	Media DoADVICS 影山F110	1'46.357	43	0.455	154.450
4	5			三宅 淳嗣/A. MIYAKE	HFD/3SR5/3チALLENGE	1'46.386	56	0.484	154.408
5	60			菅波 冬佑/T. SUGANAMI	OTG DL F110	1'46.481	45	0.579	154.270
6	36			野中 誠太/S. NONAKA	FTR5/3チALLENGE F4	1'46.508	58	0.606	154.231
7	77			大井 博史/T. OHI	WARMTECH SkillSpeed	1'46.621	53	0.719	154.067
8	37			平良 晋/H. TAIRA	FTR5/3チALLENGE F4	1'46.676	58	0.774	153.988
9	9			塩津 佑介/Y. SHIOTSU	ATEAM Buzz Racing	1'46.689	52	0.787	153.969
10	15			篠原 拓朗/T. SHINOHARA	Media DoADVICS 影山F110	1'46.697	52	0.795	153.957
11	99			松井 孝太郎/K. SAKURAI	ZAP SPEED 3チALLENGE	1'46.726	63	0.824	153.916
12	11			石橋 竜一郎/R. ISHIZAKI	札幌F39 Rn-sports F110	1'46.734	59	0.832	153.904
13	63			川倉 孝太/K. KAWAII	DENSO 3チALLENGE JPM F4	1'46.866	52	0.954	153.728
14	62			神崎 也/S. JIN	DENSO 3チALLENGE JPM F4	1'46.869	52	0.957	153.724
15	38			山本 大輔/D. OKAMOTO	SUCCESS RACING F4	1'46.883	60	1.004	153.663
16	20			木村 博雄/H. KIMURA	Silver Star Racing	1'46.946	56	1.044	153.599
17	30	INDP	1	DRAGON	TEAM DRAGON F4	1'47.033	60	1.131	153.474
18	16			渡辺 大輔/D. WATANABE	Media DoADVICS 影山F110	1'47.068	47	1.166	153.424
19	80			大竹 利光/M. OHTAKE	OTG DL F4CHALLENGE	1'47.421	20	1.519	152.920
20	44			小野 幸 匠/S. ONODERA	SIGMA IMS F110	1'47.432	59	1.530	152.904
21	2	INDP	2	仲尾 憲史/K. NAKAO	TCS Racing Team	1'47.695	42	1.793	152.531
22	73			境 誠佑/S. HANAWA	3チALLENGE 新築城インキスレーシング	1'47.794	52	1.892	152.391
23	3	INDP	3	佐藤 大/A. S. SATO	結城の学校 フォートモータースレーシング	1'47.876	60	1.974	152.275
24	25			堀尾 龍光/F. HORIO	SAMURAI Rレーシング F4	1'47.973	67	2.071	152.138
25	12			植田 正幸/M. UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	1'48.163	51	2.261	151.871
26	31			三枝 拓也/T. SAIGUSA	RnA Racing project	1'48.283	48	2.381	151.702
27	86	INDP	4	大飯 八郎/H. OSAKA	COLLET F110	1'48.566	53	2.664	151.307
28	98	INDP	5	IKARI	TOEI BJRacing F110	1'48.593	58	2.691	151.289
29	4	INDP	6	佐々木 祐一/Y. SASAKI	Sendai DayDream F110	1'48.606	54	2.704	151.251
30	28	INDP	7	齋藤 真紀雄/M. SAITO	CS Marketing ES	1'48.704	62	2.802	151.115
31	10	INDP	8	堀田 誠/M. HOTTA	7チALLENGE スムレーシング	1'48.911	61	3.009	150.828
32	27	INDP	9	SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	1'49.231	57	3.329	150.386
33	34	INDP	10	菊池 博憲/H. KIKUCHI	RT WORLD	1'49.416	54	3.514	150.132
34	43	INDP	11	吉田 基良/M. YOSHIDA	ZAP SPEED F110	1'49.490	28	3.588	150.030
35	23	INDP	12	YUGO	SZR Racing	1'49.711	53	3.809	149.728
36	71	INDP	13	大山 正秀/M. OYAMA	イオン通商INAGISA AUTO	1'49.899	61	3.997	149.472

Entry :36 Start :36





2019 FIA-F4選手権シリーズ									
FIA-F4 第3戦 決勝レース									
2019/5/3/5:15									
FUJISPEEDWAY									
正式結果表									
Fuji Speedway(4,563m)									
Weather: Fine									
Track: Dry									
Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap
1	7			佐藤 直/R. SATO	SRS/3Fレーシング	15	26'44.036	152.855	
2	6			太田 裕之/K. OHTA	SRS/3Fレーシング	15	26'45.202	152.820	0.366
3	39			岡本 大地/O. OKAMOTO	SUCCESS RACING F4	15	26'48.993	152.460	4.157
4	36			野中 誠太/S. NONAKA	FTRSLカレッジF4	15	26'49.974	152.367	5.138
5	63			川合 孝法/K. KAWAII	DENSO & Co-IPG F4	15	26'52.388	152.139	7.552
6	15			藤原 拓海/T. SHINGHARA	Media DoADVICS影山F110	15	26'52.397	152.138	7.561
7	37			平良 響/H. TAIRA	FTRSLカレッジF4	15	26'54.588	151.932	9.752
8	60			菅波 孝徳/T. SUGANAMI	OTG DL F110	15	26'56.420	151.760	11.594
9	62			神崎 也/S. JIN	DENSO & Co-JPM F4	15	26'57.087	151.697	12.251
10	24			平本 玲次/R. HIRAKI	Media DoADVICS影山F110	15	26'58.033	151.609	13.197
11	5			三宅 淳嗣/A. MIYAKE	HFDPSRS/3Fレーシング	15	26'58.045	151.607	13.209
12	22			三宅 淳嗣/T. MIYAKE	HFDPSRS/3Fレーシング	15	26'58.045	151.607	13.209
13	20			本村 雄輔/K. KIMURA	Silver Star Racing	15	27'03.699	151.079	18.863
14	19			佐藤 直/R. SATO	Media DoADVICS影山F110	15	27'09.117	150.982	20.291
15	80			大竹 将光/M. OHTAKE	OTG DL F4CHALLENGE	15	27'07.892	150.718	22.756
16	73			塩 剛祐/S. HANAWA	アドゥ新美城インカスレーシング	15	27'14.909	150.044	30.073
17	44			小野寺 匠/S. ONODERA	SIGMA IMS F110	15	27'15.855	149.957	31.019
18	2	INDP	1	仲尾 進史/K. NAKAO	TCS Racing Team	15	27'17.719	149.786	32.883
19	30	INDP	2	DRAGON	TEAM DRAGON F4	15	27'25.310	149.095	40.474
20	11			石崎 竜一郎/R. ISHIZAKI	札幌F3Rn-sports F110	15	27'25.694	149.080	40.858
21	3	INDP	3	佐藤 直/R. SATO	結城の学校 フォーメーション	15	27'26.282	149.007	41.446
22	12			結田 正幸/M. UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	15	27'29.562	148.711	44.726
23	31			三枝 拓也/T. SAIGUSA	RINeA Racing project	15	27'30.132	148.659	45.296
24	28	INDP	4	青藤 真紀雄/M. SAITO	CS Marketing ES	15	27'33.062	148.390	48.226
25	98	INDP	5	IKARI	TOEI BJRacing F110	15	27'33.096	148.393	48.260
26	4	INDP	6	佐々木 祐一/Y. SASAKI	Sandai DayDream F110	15	27'33.319	148.373	48.483
27	86	INDP	7	大塚 八郎/H. OSAKA	COLLET F110	15	27'40.557	147.726	55.721
28	43	INDP	8	吉田 昌典/M. YOSHIDA	ZAP SPEED F110	15	27'44.344	147.390	59.508
29	10	INDP	9	堀田 誠/M. HOTTA	トウメイスムーレーシング	15	27'44.711	147.357	59.875
30	27	INDP	10	SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	15	27'52.121	146.704	1'07.285
31	34	INDP	11	菊池 博幸/H. KIKUCHI	RT WORLD	15	27'57.946	146.195	1'13.110
32	23	INDP	12	YUGO	SZR Racing	15	28'03.527	145.711	1'18.691
33	25	INDP	13	堀尾 風光/F. HORIO	SAMURAIフォース F4	15	28'06.475	145.456	1'21.639
34	71	INDP	13	大山 正芳/M. OYAMA	9'17N速商/NAGISA AUTO	15	28'37.485	137.480	1'52.646
***** 以上完走 (規定周回数 13Laps) *****									
99				坂井 孝太郎/K. SAKURAI	ZAP SPEED スパッシュ	5	9'07.857	147.921	10Laps
9				塩津 佑介/Y. SHOTSU	ATEAM Buzz Racing	1	1'53.678	134.676	14Laps
***** 以上完走 (規定周回数 13Laps) *****									
Fastest Lap									
1'46.222 (11 / 15) 154.646 km/h 24 平本 玲次/R. HIRAKI / Media DoADVICS影山F110									
INDP 1'48.058 (13 / 15) 152.018 km/h 98 IKARI / TOEI BJRacing F110									
Start Time : 13:29:22 Finish Time : 13:56'08.836 Entry : 36 Start : 36 Finish : 34									
黒白旗提示(13:46, CarNo.11)									
*1 CarNo.71は、スタート(グリッド停止位置)違反により、競技結果に対して40秒加算のペナルティを科す。									
<div> <div>計時委員長</div> <div>大会委員長</div> <div>審判委員長</div> </div> <div> <div>祝田 久仁一</div> <div>朝倉 敬一</div> <div>柘植和彦</div> </div>									

2019 FIA-F4選手権シリーズ

FIA-F4 第4戦 決勝レース

2019/5/4/2:25



正式結果表

Weather: Fine
Track: Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap	
1	7			佐藤 達也/R. SATO	SRS/3Fレーシング	15	31'26.892	130.006		1'46.523	8	
2	24			平本 将次/R. HIRAKI	Media DoADVICs新山F110	15	31'33.281	129.567	6.389	6.389	1'46.413	9
3	63			川合 孝治/K. KAWAII	DENSO & ーセ IFG F4	15	31'33.834	129.530	6.942	0.553	1'46.600	14
4	37			平良 智也/H. TAIRA	FTR/3Fレーシング	15	31'35.492	129.416	8.600	1.656	1'46.797	14
5	6			太田 悟之進/K. OHTA	SRS/3Fレーシング	15	31'35.945	129.385	9.053	0.453	1'46.794	12
6	60			菅家 孝徳/T. SUGANAMI	OTG DL F110	15	31'36.675	129.336	9.783	0.730	1'46.429	11
7	62			神 精也/S. JIN	DENSO & ーセ JPM F4	15	31'37.068	129.309	10.176	0.393	1'46.466	14
8	36			野中 誠光/S. NONAKA	FTR/3Fレーシング	15	31'37.098	129.307	10.206	0.030	1'46.260	15
9	39			岡本 大地の OKAMOTO	SUCCESS RACING F4	15	31'38.061	129.241	11.169	0.963	1'46.875	15
10	5			三宅 淳樹/A. MIYAKE	HFD/3Fレーシング	15	31'38.156	129.235	11.264	0.095	1'46.346	15
12	20			木村 健雄/K. KIMURA	Silver Star Racing	15	31'40.059	129.105	13.167	0.799	1'46.705	14
13	11			石崎 健一/K. ISHIZAKI	ALBA/3F RACING F110	15	31'44.211	128.922	17.925	4.716	1'46.881	12
14	25			堀尾 風光/F. HORIO	SAMURAI ーセ F4	15	31'49.737	128.451	22.845	5.220	1'47.132	10
15	80			大竹 将光/H. OHTAKE	OTG DL F4CHALLENGE	15	31'51.962	128.302	25.070	2.225	1'47.458	8
16	31			三枝 拓也/T. SAIGUSA	RiNoA Racing project	15	32'04.646	127.456	37.754	12.684	1'48.381	10
17	15			高橋 拓磨/T. TAKAHASHI	Media DoADVICs新山F110	15	32'06.748	127.317	39.856	2.102	1'48.850	14
18	73			渡 麻佑/S. HANAWA	3Fレーシング	15	32'10.182	127.090	43.290	3.434	1'47.793	13
19	28	INDP	1	野藤 真紀雄/M. SAITO	C/S Marketing ES	15	32'17.832	126.589	50.940	7.650	1'48.311	14
20	4	INDP	2	佐々木 祐一/Y. SASAKI	Sandai Daydream F110	15	32'21.752	126.333	54.860	3.920	1'48.227	15
21	27	INDP	3	SYUJI	B-MAX ENGINEERING F4	15	32'26.150	126.048	59.258	4.398	1'48.798	13
22	10	INDP	4	堀田 誠/M. HOTTA	7Fレィシング	15	32'26.410	126.031	59.518	0.260	1'48.777	12
*1	23	16		渡辺 大祐/D. WATANABE	Media DoADVICs新山F110	15	32'44.642	(31'44.642+400)	1'17.750	18.232	1'47.190	8
*2	24	98	INDP	5 IKARI	TOEI SURACING F110	15	32'56.325	(31'56.325+400)	1'29.433	11.683	1'47.883	11
*3	25	3	INDP	6 佐藤 将次/F. SATO	結城の学校 3Fレーシング	15	32'56.500	(31'56.500+400)	1'29.638	0.175	1'47.666	12
*4	26	30	INDP	7 DRAGON	TEAM DRAGON F4	15	32'57.223	(31'57.223+400)	1'30.331	0.723	1'47.830	12
27	34	INDP	8	菊池 博重/H. KIKUCHI	RT WORLD	15	32'57.984	124.019	1'31.092	0.761	1'51.034	15
*28	44			中野 幸/S. ONODERA	SIGMA IMS F110	15	33'04.628	(31'04.628+400)	1'37.733	6.641	1'47.584	11
*29	43	INDP	9	吉田 基良/M. YOSHIDA	ZAP SPEED F110	15	33'18.548	(31'18.548+400)	1'51.656	13.923	1'48.971	5
*4	30	71	INDP	10 大山 正芳/M. OYAMA	7Fレーシング	13	29'45.885	(31'05.885+400)	2Laps	2Laps	1'50.413	10
***** 以上完走 (規定周回数 13Laps) *****												
*5	2	INDP		仲尾 恵史/K. NAKAO	TCS Racing Team	3	10'28.319	(31'08.319+700)	12Laps	10Laps	3'21.562	3
99				榎井 孝太郎/K. ENKAWA	ZAP SPEED レーシング	1	2'34.834	99.025	14Laps	2Laps	-	-
12				横田 正幸/M. UEDA	Rn-sports SEIDO-YA	1	3'17.171	77.762	14Laps	42.337	-	-
*6	86	INDP		大塚 八郎/H. OSAKA	COLLET F110	1	4'46.780	(31'06.780+700)	14Laps	1'29.609	-	-
23	23	INDP		YUGO	SZR Racing	0					-	-

Fastest Lap

1'46.260 (15 / 15)	154.591 km/h	36	野中 誠光/S. NONAKA / FTR/3Fレーシング
INDP 1'47.608 (12 / 15)	152.572 km/h	3	佐藤 将次/F. SATO / 結城の学校 3Fレーシング

Start Time : 8:44:33 Finish Time : 9:15:53.892

Entry : 36 Start : 35 Finish : 30

SC導入時刻(8:45~8:57 0Lap~4Laps)

- *1 CarNo.16, 30は、H項(SC中の多数追越し)違反により、競技結果に対して60秒加算のペナルティを科す。
- *2 CarNo.98, 31は、H項(SC中の複数追越し)違反により、競技結果に対して80秒加算のペナルティを科す。
- *3 CarNo.44, 43は、H項(SC中の追越し)違反により、競技結果に対して50秒加算のペナルティを科す。
- *4 CarNo.71は、シリーズ規則 第15条1.112(他車への衝突・コースアウト)違反により、競技結果に40秒加算のペナルティを科す。
- *5 CarNo.21は、H項(SC中の多数追越し・他車へ衝突)違反により、競技結果に対して70秒加算のペナルティを科す。
- *6 CarNo.86は、H項(SC中の複数追越し・他車へ衝突)違反により、競技結果に対して70秒加算のペナルティを科す。

計時委員長	大会監督	審査委員長
祝田 久仁	朝倉 敬一	杉本 和彦

